



一般社団法人 四日市青年会議所



創立70周年 記念誌

もっと力強い四日市へ。さぁ、頑張ろうぜ！



目 次

P.02

日本青年会議所
からの
加入承認書

P.03

チャーター
メンバー挨拶
(第6代理事長
岡田卓也先輩)

P.04

JCI Creed
JCI Mission
JCI Vision
JC宣言
綱領
三信条

P.05

四日市青年会議所
第71代理事長挨拶、
シニアクラブ
会長挨拶

P.06-07

祝辞

P.08-10

歴代理事長紹介
第1代から
第66代

P.11-15

歴代理事長紹介
第67代から
第71代

P.16-17

姉妹JC
雨港国際青年商會との
あゆみ

P.18

70周年
記念式典について

P.19-20

中長期ビジョン
2025から2029

P.21-23

四日市JC
シニアクラブ会員
名簿、物故者

P.24-26

2025年度会員紹介

四日市青年会議所殿

定款第六條の規定に依り審議の
結果加入を承認する

昭和三十年七月十六日

日本青年会議所会頭森下泰



森下泰

チャーターメンバーご挨拶



チャーターメンバー
第6代理事長
岡田 卓也

1955年
四日市青年会議所創立時の
チャーターメンバーとして入会

1960年
第6代理事長に就任
同年創立5周年記念式典開催

1965年
卒業
四日市JCシニアクラブ入会

70周年記念式典への祝辞文ご紹介

このたびの四日市青年会議所の創立70周年、誠におめでとうございます。
会員の皆様の日頃のご尽力により、本日の祝宴を迎えられたことに心から経緯を表します。

私が四日市青年会議所に携わったのは、今から65年前でございます。
思い返してみれば、当時は高度経済成長期であり、現在の様な多様な価値観を有する社会環境では無く、乗り越えなければならない壁が多々ございました。

そのたびに、ふるさと四日市を、笑顔あふれる豊かな地域とするため、若い世代の経営者が中心となり、「変革」を起こすべきと考え自分を奮い立たせておりました。岡田屋の家訓は「大黒柱に車をつけよ」でありました。いつの時代にも既成概念を打破する「変革」が重要であり、これまでの常識や経験値を捨て時代に即した新しい手法で、物事を捉えることを徹底し継続し、本年100歳となります。

皆さまにおかれましても、激変する国際情勢の中、四日市地区の発展のため英知を結集し、新時代の四日市青年会議所を築かれることを期待しております。

JCI Creed

The Creed of Junior Chamber International

We Believe —That faith in God gives meaning and purpose to human life
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations
That economic justice can best be won by free men through free enterprise
That government should be of laws rather than of men
That earth's great treasure lies in human personality
and That service to humanity is the best work of life

JCI 綱領

我々はかく信じる

真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities
that empower young people to create positive change

【和訳】

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらす
ためにリーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders

【和訳】

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる。

JC 宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

我々 JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

JC 三信条

奉仕（Service） 社会への貢献と他者のために尽くす姿勢を重視する。
修練（Training） 自己修養と能力開発を通じて人格とリーダーシップを磨く。
友情（Friendship） 志を同じくする仲間と心を通わせ、強い絆を築く。

ご挨拶

一般社団法人四日市青年会議所
第71代理事長 仲野 仁裕

本年、私たち四日市青年会議所は創立70周年を迎えることができました。1955年、希望を胸に、このまちの未来を信じて立ち上がった青年たちの志が、本会議所の始まりです。以来、幾多の時代の変化を越えながらも、その想いは脈々と受け継がれ、地域に根差した運動として育まれてきました。この70年の歩みは、決して平坦な道のりではありませんでしたが、先輩方の情熱と、地域の皆様からの変わらぬご支援に支えられてきたことに、心から感謝を申し上げます。私が大切にしている言葉に「中今（なかいま）」があります。過去と未来の間にある“今”をどう生きるか。その姿勢こそが、まちの未来を創る一歩であると確信しております。仲間とともに汗を流し、時に笑いあいながら心を重ね、挑戦を続ける毎日が、次の時代への橋渡しになると信じています。

四日市がもっと好きになれるように。そして、「四日市を変えたのは自分たちだ」と胸を張って言える未来を目指して、これからも真心をもって進んでまいります。今後とも四日市青年会議所に変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

四日市青年会議所が創立70周年を迎え、シニアクラブ会長として心よりお喜び申し上げます。四日市青年会議所が創立されたのは、今からちょうど70年前、昭和30年の5月15日のことでした。戦後10年という時代、世の中がようやく前を向き始めたその年、ここ四日市ではもうひとつ、大きな喜びと誇りが生まれました。そうです、四日市高校が夏の甲子園で優勝を果たし、全国にその名を轟かせたのです。若き球児たちが全力で戦い抜いた姿は、当時の市民に大きな感動と勇気を与えました。

そして、同じ年の5月15日、地域を愛し、未来を切り拓こうと立ち上がった青年たちが結成したのが、私たちの四日市青年会議所です。

それはまさに、若者の情熱と希望が街を動かし始めた年であったと言えるでしょう。

私たちシニアクラブにとっても、この70年という歴史は、共に築き、歩んできたかけがえのない時間であります。現役メンバーの皆さまが今もなお、高い志を持って地域社会に尽力されている姿に、深い敬意と頼もしさを感じております。どうかこれからも、「明るい豊かな社会の実現」という普遍の理念を胸に、次の世代へと誇れる歩みを続けてください。

我々シニアクラブ一同も、変わらぬ想いをもって、皆さまの活動を力強く応援してまいります。本日は、誠におめでとうございます。

四日市JCシニアクラブ
会長 大矢知 直登 先輩

ご 祝 辞



三重県知事

一見 勝之 様

一般社団法人四日市青年会議所が、創立70周年を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

青年会議所は会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献することを目的に、様々な活動に取り組んでおられます。

四日市青年会議所におかれましては、全国で70番目の青年会議所として設立されて以来、地域社会における諸問題の解決に向けた取組や、地域のリーダーとなる人材の育成に取り組み、今日に至るまで、様々な形で地域づくりに貢献してこられましたことに、深く敬意を表します。

三重県では、県民の皆様が未来に希望を持ち、幸せを感じながら、元気に、安全・安心に暮らすことのできる持続可能な地域を目指し、県政運営に尽力しているところです。今後も、県民の命を災害などから守り、未来を担う子どもたちを守り育てる取組を進めます。引き続き、地域社会のプラットフォームとして、会員の皆様のリーダーシップによるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

この記念すべき70周年の節目を機に、一般社団法人四日市青年会議所のますますのご発展と皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



四日市市長

森 智広 様

一般社団法人四日市青年会議所が創立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

1955年の創立以降、70年もの長きにわたり「奉仕」・「修練」・「友情」の三つの信条のもと、地域の発展を願う多くの仲間が団結して社会課題に向き合い、地域に貢献されてきました。歴代会員の皆様の熱意とご努力に深く敬意を表する次第です。

さて、四日市市では現在、4つの将来都市像「子育て・教育安心都市」「産業・交流拠点都市」「環境・防災先進都市」「健康・生活充実都市」を掲げ、新たなまちづくりを進めております。市民や事業者、四日市市に関わりのある人たちがより豊かで幸せになれるよう、未来に向け取り組んでいるところです。

四日市市が有する高いポテンシャルを今後も活かし、東海エリアにおける西の中核都市として本市の存在感を高めるべく、全力を尽くしてまいりますので、本市の市政運営に対し、会員各位のさらなるご理解とご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、四日市青年会議所の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



四日市商工会議所 会頭

小川 謙 様

※就任時期2022年11月～2025年10月度

一般社団法人四日市青年会議所が創立70周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

四日市青年会議所の皆様におかれましては、1955年の設立以来、「奉仕」「修練」「友情」の三信条のもと、地域経済の健全な発展と豊かな地域社会の構築にご尽力され、多くの成果を上げてこられました。その歩みは歴代理事長をはじめ、役員・会員皆様方のたゆまぬ努力の結晶であり、深い敬意と感謝を表する次第です。

現在、日本経済は緩やかな回復基調にあるものの、物価上昇や人手不足などの課題が山積しており、

更に米国トランプ政権による関税引き上げなど国際情勢の変化による不確実性も高まっています。

このような状況下で、地域経済が持続的に発展していくためには、貴会議所の若い力と行動力が益々重要となります。

四日市商工会議所としても、皆様と連携しながら地域経済の発展に取り組んでまいりたいと存じます。

結びに、この記念すべき70周年という節目を新たな飛躍の契機とされますこと、あわせて貴会議所の会員皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



公益社団法人日本青年会議所
2025年度 会頭

外口 真大 様

一般社団法人四日市青年会議所の皆様、創立70周年、誠におめでとうございます。

70年という長きにわたり、地域に多くの運動を生み出してこられたことに対しまして、心より敬意を表します。

創立より青年経済人の想いを紡いでこられた貴青年会議所の皆さまにおかれましては、諸先輩方の熱き想いを承継し、70周年という記念すべき年に、仲野仁裕理事長のもと、スローガンに「もっと力強い四日市へ。さぁ頑張ろうぜ!」を掲げられ、明るい豊かな社会の実現を目指し、志高く、理想に向かって邁進されることと存じます。

本年度、日本青年会議所といたしましては、「希望あふれる理想を描き変えたのだと誇れる未来へ」を基本理念に掲げさせていただきました。

社会課題解決運動から社会開発運動へと転換する事によって、魅力ある運動を通じて家族・会社・地域のために誇れる組織の実現を目指し、各地の皆様と手を携え、日本や地域がより良くなるための運動を展開してまいります。

引き続き深いご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、日本青年会議所を大いにご活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい運動の成果を出されること、さらに、皆様にとって本年が素晴らしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。



公益社団法人日本青年会議所
東海地区協議会
2025 年度 会長
戸嶋 一将 君

一般社団法人四日市青年会議所が本年創立70周年の節目を迎えられましたことに心よりお喜び申し上げます。創立以来70年に亘る歴史を紡ぎ、地域の発展にご尽力されてきた特別会員の皆様と、高い志を受け継ぎ、力強く運動を展開されている現役メンバーの皆様に敬意を表します。また、永年に亘り日本青年会議所東海地区協議会の運動にご理解、ご協力をいただいていることに御礼申し上げます。

本年、貴青年会議所におかれましては、仲野仁裕理事長のもと「もっと力強い四日市へ。さあ、頑張ろうぜ!」をスローガンに「今」から未来を見据え、未来に向けた運動を展開されていることを嬉しく存じます。創立より積み重ねてきた知識や経験という財産、そしてそこに捧げられた時間と情熱を誇りとし、引き続き本質的に地域にインパクトを残すことができる社会開発運動が展開されますこととご期待申し上げます。

結びに、70周年という節目の年を迎えられました今こそ、創始の想いにあらためて立ち返り、これまで以上に地域から必要とされる青年会議所へと飛躍を遂げられますこと、そして、会員の皆さまが益々ご活躍されますことをご祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。



公益社団法人日本青年会議所
東海地区協議会
三重ブロック協議会
2025 年度 会長
森下 巧麻 君

一般社団法人四日市青年会議所が創立70 周年を迎えるにあたり、三重ブロック協議会を代表して心よりお祝いを申し上げますとともに、貴青年会議所が紡いでこられました歴史とご功績に対しまして、深い敬意を表します。

また、日頃より三重ブロック協議会の運動に対しても多大なる貢献とご協力を頂いておりますことに厚く御礼申し上げます。

本年、貴青年会議所は「もっと力強い四日市へ。さあ、頑張ろうぜ!」をスローガンに掲げられる仲野仁裕理事長の熱い想いと卓越した指導力のもと、変化に対応した柔軟な変革運動を展開されています。脈々と受け継がれてこられた貴青年会議所の歴史と伝統、そして先輩諸兄姉の高い志を胸にメンバーの皆様が一丸となり邁進し続け、行動し運動を起こしまちの輝かしい未来を一層切り拓いていかれることと確信しております。

結びに、一般社団法人四日市青年会議所の今後益々のご発展、皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



公益社団法人名古屋青年会議所
第 75 代 理事長
平岩 敏明 君

一般社団法人四日市青年会議所の皆様、輝かしい歴史と伝統を築き上げてこられました歴代理事長を始めとする特別会員の皆様、創立70周年を迎えられたことを、公益社団法人名古屋青年会議所を代表して、衷心よりお慶び申し上げます。

貴青年会議所は、「もっと力強い四日市へ。さあ、頑張ろうぜ!」を創立70周年である2025年度のスローガンに掲げられ、様々な活動に取り組んでおられます。そして、全ての活動において、人材育成や地域の特性に対応したまちづくり運動を機軸に、明るい未来を創るため新たな第一歩を踏み出したことと存じます。

貴青年会議所と名古屋青年会議所とは、我々の住まう地域を、誰もが夢を描ける舞台へと変え、日本を明るい豊かな社会へと導き、ひいては世界平和を実現させるべく、良きパートナーとして創立以来活動してきました。どうか今後とも変わらぬ関係を継続していただきたくお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴青年会議所の今後益々のご発展と、会員の皆様一人ひとりが夢に向かって益々ご活躍されることを心よりご祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。



雨港国際青年商會
會長
詹曜瑄 君

このたびは、一般社団法人四日市青年会議所創立70周年を心よりお祝い申し上げます。

國際青年商會中華民國總會雨港國際青年商會を代表し、皆様の長年にわたるご尽力とご貢献に深く敬意を表します。この70年の間、四日市青年会議所は「社会への奉仕」と「青年リーダーの育成」という精神を受け継ぎ、地域の発展や国際交流において惜しみない努力をされてきました。その活動は、JCスピリットの真髓を体現し、日本社会に活力をもたらすとともに、アジア太平洋地域、さらには世界中の青年会議所にとっても模範となっています。

雨港國際青年商會と貴会との間には、長きにわたる友情と交流の歴史があります。私たちはこのパートナーシップを大切に、今後もさらなる国際的な協力を通じて、共により良い未来を築いていけることを楽しみにしております。この記念すべき節目にあたり、四日市青年会議所のさらなる発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げるとともに、今後もより多くの若者がリーダーシップと奉仕の理想を実現できるよう導かれることを願っております。

四日市青年会議所の持続的な発展、さらなる飛躍を心より祈念いたします。

歴代理事長紹介 初代～ 22 代



1955年（昭和30年）
初代理事長（故）
九鬼 紋七（覇郎）
○5月15日 創立総会
○7月15日 日本JCより承認を受ける

等



1956年（昭和31年）
第2代理事長（故）
九鬼 紋七（覇郎）
○1月15日 商工会議所にて第1回定時総会開催
○第1回児童画展開催以降第14回まで行われる
○創立1周年記念例会開催
○四日市JCニュース第1号編集

等



1957年（昭和32年）
第3代理事長（故）
九鬼 紋七（覇郎）
○市政60周年記念協賛 日豪親善児童画展開催
○児童画をオーストラリアJCに送る

等



1958年（昭和33年）
第4代理事長（故）
門脇 俊太
○事故表示板付時計塔贈呈式
○臨時総会、定款運営規定等審議
○四日市港まつり協賛

等



1959年（昭和34年）
第5代理事長（故）
後藤 藤太郎
○三重県下JC野球大会優勝
○伊勢湾台風救援活動
○大阪、泉大津、京都、堺、各JCより救援物資受取
○大阪JC医療班来泊

等



1960年（昭和35年）
第6代理事長
岡田 卓也
○創立5周年記念式典
○三重県療養所看護学級にオルガン寄贈
○「希望の家」児童招待
○新入会員テーブルスピーチ

等



1961年（昭和36年）
第7代理事長（故）
片山 茂則
○企業合理化の研究
○豪州よりG・W・ピア氏来泊
○ボートリンクカーンJCより児童が持参
○防犯灯20基を寄贈
○5周年記念事業噴水塔寄贈

等



1962年（昭和37年）
第8代理事長（故）
葛谷 一朗
○交通事故の無い日PRに参加
○日本JC地区担当理事会を四日市で開催
○海洋少年団2周年式典参加
○亀山JC認承伝達式

等



1963年（昭和38年）
第9代理事長（故）
久保村 秀高
○市内各銀行代表者を招き金融問題懇談会
○京都JCとの家族交歓会
○亀山JCとの家族交歓会
○ロングビーチ市長歓迎会

等



1964年（昭和39年）
第10代理事長（故）
川村 潔
○精進問題座談会
○北勢4市長を囲む座談会、のち10月に4市長による
北勢地区広域開発講演会開く
○大四日市まつりに協賛諏訪太鼓チーム初出陣
○特殊学級児童招待

等



1965年（昭和40年）
第11代理事長（故）
前田 一長
○JCIを知る 国際および国内経済問題
○中小企業研修シリーズ例会を毎月行う
○10周年記念式典

等



1966年（昭和41年）
第12代理事長（故）
矢野 耕一
○与謝野道子女史講演会
○交通安全運動に協力して、学童教育用自動車贈呈式
○JC太鼓チーム希望の家訪問
○坂出JCと公害問題について意見交換

等



1967年（昭和42年）
第13代理事長（故）
堀田 時良
○教育の正常化について例会
○文春講演 大江健三郎氏
○鈴鹿JC設立総会
○貝野遺跡保存運動

等



1968年（昭和43年）
第14代理事長（故）
前田 勝
○社会開発個別アンケート作成
○鈴鹿JC創立総会
○貝野遺跡問題
○飯塚鈴児名鑑船展チャリティーセール

等



1969年（昭和44年）
第15代理事長
堤 稔
○文化財を守る文化講演会
（柴田鎌三郎、新田二郎、陳舜臣）
○社会開発市民会議
○北勢地区のJC交通教室（第2回）
○チャリティー陶芸展

等



1970年（昭和45年）
第16代理事長（故）
服部 鎮夫
○市へ精進寺職業訓練センター建設資金を贈呈
○東海地区会員大会主管
○献血運動第1回
○四日市JC15周年記念式典

等



1971年（昭和46年）
第17代理事長（故）
平山 浩
○植樹祭
○近鉄線高架促進期同盟会総会
○訪日ドイツ青少年代表団歓迎式

等



1972年（昭和47年）
第18代理事長（故）
伊藤 和門
○西ロータリーチャーターナイト太鼓出演
○交通遺児チャリティー
○交通安全弁論大会

等



1973年（昭和48年）
第19代理事長（故）
門脇 一民
○海洋少年団特別委員会設立
○老人ホーム招待ボーリング大会
○交通遺児救済募金
○韓国仁川JC交歓会

等



1974年（昭和49年）
第20代理事長（故）
矢野 裕之
○緑化運動、植樹、工場緑化アンケート、
緑地公園清掃、緑化推進花ごよみ作成
○20周年準備委員会発足
○市民例会チャリティーショー

等



1975年（昭和50年）
第21代理事長（故）
石井 惣司
○市民清掃運動の推進
○JC公園づくりスタート
○四日市JC20周年記念式典

等



1976年（昭和51年）
第22代理事長（故）
廣田 昌作
○四日市市の緑の調査の報告
○チャリティーファッションショー
○社団法人 四日市青年会議所登記完了
○救急病院地図作成

等

歴代理事長紹介 23代～44代



1977年（昭和52年）
第23代理事長（故）
村木 敏雄
○海洋少年団全国大会の主管
○救急病院地図発表
○「明るい四日市をつくろう」チャリティーショー
○亀山JC日本のリズム太鼓まつり出演 等



1978年（昭和53年）
第24代理事長（故）
吉田 紘臣
○東海地区会員大会の主管
○チャリティーショー
○大学設置問題パネルディスカッション
○友好訪中団派遣 等



1979年（昭和54年）
第25代理事長（故）
梅沢 悟
○身体障害者用公衆トイレの設置
○ロングビーチJCとの姉妹JC提携
○社会福祉事業振興基金チャリティーオークション
○市民例会 等



1980年（昭和55年）
第26代理事長（故）
伊藤 勘作（寛治）
○創立25周年
○臨時総会、定款運営規定等審議
○四日市港まつり協賛 等



1981年（昭和56年）
第27代理事長
北岡 泰瑩
○青少年育成基金づくり
○4月度事業チャリティーショー
○8月度事業四日市シティマラソン
○泊山JC公園の完成 等



1982年（昭和57年）
第28代理事長
青山 學
○四日市文化会館開館記念事業
○青少年育成基金「タモリチャリティーショー」開催
○「未来の四日市を考える子どもの集い」開催
○CBC公開番組「どんぐりの音楽隊」の開催 等



1983年（昭和58年）
第29代理事長（故）
中川 宏
○三重ブロック創立25周年記念
第13回三重ブロック会員大会の主管
○第2回四日市シティマラソンの開催
○青少年育成基金事業「JC名画座」の開催
○JC経営スクールの開催 等



1984年（昭和59年）
第30代理事長
小川 硬一郎
○青少年育成基金事業
「中村政俊チャリティーコンサート」の開催
○青少年作文コンクール「私の学校こんなところ」の実施
○青少年教育シンポジウム開催
○R.O.C.雨港国際青年商會公式訪問団の派遣 等



1985年（昭和60年）
第31代理事長
宮崎 由至
○創立30周年記念事業
○青少年育成基金事業
○記念講演会 講師 東野英心氏
○「交響詩四日市」制作・初演・寄贈
○R.O.C.雨港国際青年商會との姉妹提携 等



1986年（昭和61年）
第32代理事長
清水 良
○三世交流ゲートボール四日市大会の開催
○経営カレッジの開校
○JC世界会議名古屋大会副主幹
○交通安全キャンペーンの実施 等



1987年（昭和62年）
第33代理事長
矢野 正剛
○市民会議の開催
○青少年国際交流キャンプの開催
○地域経済の調査研究とビジョン作成
○話し方教室の開催 等



1988年（昭和63年）
第34代理事長
平田 耕一
○日中友好青年の船「よっかいち号」主催
○万古焼手形陶芸「ERIKO」設置
○天津市青年芸術祭参加者派遣
○21世紀の四日市を担う青年の会発足準備 等



1989年（平成元年）
第35代理事長
森崎 誠二
○市民公開例会（2月度 金田一晴彦氏、
5月度 津川雅彦氏 7月度 交通安全）の開催
○「YY21」の結成
○青少年育成基金事業
「松山千春チャリティコンサート」の主催 等



1990年（平成2年）
第36代理事長
堀木 俊男
○創立35周年記念式典
○創立35周年記念事業
○Super Kids トライアスロン in YOKKAICHIの開催
○ROC雨港国際青年商會 姉妹締結
5周年式典参加（台湾9月） 等



1991年（平成3年）
第37代理事長
山本 歩
○「テクノフェアみえ'97」への参加
○まちづくり市民フォーラムの開催
○「ぼくの夢、わたしのまち」作文コンクールの実施
○親と子のふれあい広場の開催 等



1992年（平成4年）
第38代理事長
大矢知 直登
○「オープンバザール四日市」への参画
○「四日市シティマラソン」の移管
○市民フォーラム「今、なぜ合併か」開催
○「福祉について」作文コンクールの実施 等



1993年（平成5年）
第39代理事長
大谷 浩信
○市民フォーラム「あなたも合併について考えてみませんか」開催
○「子どもの声をまちづくりに」作文コンクール実施
○C.W.ニコロ「森と海からの手紙」環境問題市民例会実施
○「ぼくのまち・わたしのまち再発見」
市民オリエンテーリング実施 等



1994年（平成6年）
第40代理事長
渡辺 順吉
○「ぼくのまち、わたしのまち再発見」の開催
○「トラや帽子店」チャリティーコンサート開催
○地域づくりスポーツフォーラム
「わがまちにリーグチームを創ろう」開催
○三重ブロック協議会事務局運営 等



1995年（平成7年）
第41代理事長
伊藤 康彦
○創立40周年記念式典「JC明日への出発」の開催
○創立40周年記念事業「JCに元気を！」の開催
○四日市スーパークイズ「まちに元気を！」の開催等



1996年（平成8年）
第42代理事長
村田 嘉宏
○第26回三重ブロック会員退会の主管
○四日市港防潮壁壁画作成及び完成式典開催
○「環境保全都市」を目指した啓蒙活動
○青少年育成事業、夏休み子供キャンプ村の開催 等



1997年（平成9年）
第43代理事長（故）
水谷 勝也
○四日市市政100周年記念事業「キッズフェスタ」開催
○劇団飛行船チャリティーミュージカル
「新作孫悟空」上演
○四日市JCホームページの開設
○市長とまちのビジョンについての意見交換例会 等



1998年（平成10年）
第44代理事長
田中 俊徳
○自己研鑽研修会（家庭編・企業編・JC編）の開催
○情報通信の活用と啓蒙、
及びHPDPの作成・JCニュースの発行
○青少年育成事業「キッズフェスタ」の開催
○第一回四日市シティロードレースへの参画 等

歴代理事長紹介 45代～66代



1999年（平成11年）
第45代理事長
藤原 和彦
○四日市港開港100周年記念事業
「スーパースポーツフェスタ」の開催
○キッズサッカー運営組織「キッズサッカーを育てる会」の設立
○青少年と環境を考える事業 アースミュージカル
「地球の秘密 坪田愛華物語」の開催 等



2000年（平成12年）
第46代理事長
萩野 昌毅
○創立45周年記念式典並びに懇親会の開催
○創立45周年記念事業「EXPO四日市2000」の開催
○台湾JC雨港国際青年商會
姉妹JC締結15周年記念式典（基隆）参加
並びに太鼓チーム基隆中元祭表敬訪問演奏 等



2001年（平成13年）
第47代理事長
伊藤 靖則
○サルビア基金関連事業「夢の扉2001」の開催
○青少年育成講演会「夢を追いかけて」（栗山秀樹）の開催
○「四日市フォーラム」（経済フォーラム）の開催
○「まつりフォーラム2001」の開催 等



2002年（平成14年）
第48代理事長
矢野 晶久
○第29回JC青年の船「とうかい号」事務局の運営
○2市2町法定合併協議会の
早期設置を目的とした提言書の提出
○海辺の環境を考える事業
「たかまつひがたって知ってる？」の開催 等



2003年（平成15年）
第49代理事長
堀木 直弘
○広域都市創り推進協議会の設置と開催
○50万都市をめざしてイメージソングコンテスト
○サルビア基金交付事業「夢の扉2003」
○台湾JC雨港国際青年商會
創立20周年記念式典参加 等



2004年（平成16年）
第50代理事長
馬瀬 勝也
○三重ブロック事務局の運営
○「心に環境を」に関する事業
○「Yokkaichi My Soul Town」事業
○「子育て」に関する勉強会 等



2005年（平成17年）
第51代理事長
伊藤 洋介
○創立50周年記念式典並びに懇親会の開催
○創立50周年記念事業の開催
○「りんりんフェスタ2005」の開催
○台湾JC雨港国際青年商會姉妹締結20周年
記念式典の開催 等



2006年（平成18年）
第52代理事長
佐野 貴信
○「あくしょんぶらん・5」の確立と発動
○ローカルマニフェスト四日市JC案
「ほっとけやん」の作成
○第1～3回ローカルマニフェストに関する
勉強会の開催 等



2007年（平成19年）
第53代理事長
菊池 雄一
○第37回三重ブロック協議会会員大会の主管
○四日市ローカルマニフェスト型選挙推進
市民ネットワーク発足
○サルビア基金交付事業
「キッズねぶたパレード」の開催 等



2008年（平成20年）
第54代理事長
児玉 光輝
○市長選挙における公開討論会の実施
○持続可能な地球のために、
環境問題の改善に向けた事業「エコまつり」の実施
○サルビア基金積立事業「チャリティーコンサート」
「SARUBIA FUND BENEFIT LIVE2008」の実施 等



2009年（平成21年）
第55代理事長
仲井 誠民
○「愛郷心」を育む事業 発信しよう愛郷心！
～Hearty Town Yokkaichi～の実施
○青少年育成基金 サルビア基金交付・積立事業
GOTTANI祭 in 四日市」の実施
○四日市市長ローカルマニフェスト進捗報告会の開催
○伊勢湾環境改善の実施 等



2010年（平成22年）
第56代理事長
石井 智光
○創立55周年記念講演・式典・祝賀会の開催
記念誌の発行
○望郷心を育む事業
○台湾JC雨港国際青年商會との姉妹締結25周年
○第37回JC青年の船「とうかい号」事務局の主管 等



2011年（平成23年）
第57代理事長
伊藤 達也
○会員数100名を必達とする会員拡大事業
○東日本大震災支援活動
○まちを学び、まちを想う心を養う事業
○会員間の強い団結を目的とした事業 等



2012年（平成24年）
第58代理事長
伊藤 彰
○一般社団法人始動の年としての取り組み
○全会員の精神的な自立
○三重ブロック協議会への協力
○東日本大震災支援活動 等



2013年（平成25年）
第59代理事長
樋尾 重樹
○「ほっとけやん！」精神の伝達
○戦略的且つ多角的な広報の実施
○アカデミー事業の開催
○出向のススメ 等



2014年（平成26年）
第60代理事長
藤村 貴
○感謝の心を持った行動
○四日市青年会議所の未来をデザイン
○四日市JCビジョンの策定
○「笑顔の力」の実践
○生物多様性を学ぶ 等



2015年（平成27年）
第61代理事長
小川 晃範
○創立60周年記念式典及び祝賀会・記念誌の発行
○「一期一会の精神」の確立
○雨港国際青年商會 姉妹締結30周年
○「12LOMの集い」の設営 等



2016年（平成28年）
第62代理事長
森寺 奉仁
○青年としての信念とあくなき向上心を持った行動
○日本JCじやがいもクラブ第41回中日本地区大会主管
○自然と産業が調和する持続可能な社会
○親から子へ伝える日本人の心 等



2017年（平成29年）
第63代理事長
平田 富太郎
○継住開来の精神
○まちの未来を創り上げる自覚と行動
○克服を発信するまちへの転換
○まちの未来を描くコンセプトの創造 等



2018年（平成30年）
第64代理事長
里中 祐介
○理想を持ち、常に目的を意識して行動する
○地方創生と意欲的に参画する市民意識の醸成
○第48回三重ブロック大会の主管
○時代に即したLOMの運営 等



2019年（令和元年）
第65代理事長
西川 晴義
○失敗を恐れず、勇気をもって行動する
○全会員による会員拡大で地域のブランドを目指す
○効率性と正確さを追及する組織運営
○四日市青年会議所を伝える広報 等



2020年（令和2年）
第66代理事長
大谷 健輔
○本質を追求し、行動する
○創立65周年記念式典
○思考力に富んだ青少年の育成
○三重ブロック協議会事務局の主管と出向のすすめ等

歴代理事長紹介 2021年度理事長(令和3年)

第67代理事長 矢野 陽一



■ スローガン

変化に挑み、変化に強くなれ
～可能性を広げる思考を持ち、行動に移そう～

■ 基本方針

アクティブシチズンシップの醸成
JAYCEEとしての自覚を持った行動
変化に挑み、可能性を広げる思考

■ 重点事業

地方創生の可能性を広げる持続可能なまちづくり
個人と組織の可能性を広げる会員拡大
持続可能な組織のためのブランディング
個の可能性を広げ、変化に強い青少年の育成
青少年育成基金「サルビア基金」の可能性を考える
国際の意識を通じて起こす意識の変化
青年会議所の可能性を広げる広報の力
組織の可能性を広げ持続可能な組織運営
未知の可能性を広げるための出向

■ 主な事業

「選ばれることが未来につながる」
～モテるまちって何ですか?～の例会開催
「＃四日市で見つけた」魅力発見!
(フォトコンテスト)の例会開催
「地方創生の可能性とは」
～一人ひとりからつながる未来へ～の例会開催
JCプログラム・四日市JAYCEEプログラムなどの
セミナーを実施
「ひとは可能性に満ちている」の例会開催
「計画、実行。そして振り返り」
～相互成長への無限ループ～の例会開催
「感謝の心を未来へつなぐ」の事業開催
「未来を切り拓く学びの極意」
～ダメな子なんていない!～の例会開催
「自然は偉大だ!大先生!!～家族と一緒に考えよう～」の
青少年育成基金・サルビア基金交付事業の開催
「こどもレポーターたちが行く!～社会が支えるこどもたちの未来～」の
青少年育成基金・サルビア基金交付事業の開催
「広い視野でお互いを知ろう」の例会開催
「国際博覧会in四日市～新たな発想を育もう～」の例会開催
「投降?否、投降だ!」の例会開催

■ 理事、監事、役員一覧

直前理事長	大谷 健輔
副理事長	筒井 淳士
	伊藤 将士
	稲垣 雄介
	野呂 京志
専務理事	藤岡 良輔
監事	春日 孝夫
	伊藤 尚貴

理事	
ブランディング委員会	
委員長	仲野 仁裕
副委員長	西尾 信太郎

まちの未来創造委員会	
委員長	伊藤 勝利
副委員長	田中 俊太郎

国際交流渉外委員会	
委員長	石川 史織
副委員長	渡部 俊也

青少年育成委員会	
委員長	川口 真輝
副委員長	森山 陽介

事務局	
事務局長	杉本 崇
財務委員長	光用 翔太郎
事務局次長	藤谷 竜大

歴代理事長紹介 2022年度理事長(令和4年)

第68代理事長 筒井 淳士

■ スローガン

Action for Growth!!
～未来を描き、行動しよう～

■ 基本方針

協調性を高める会員交流
成長し続ける会員が溢れる組織へ
情熱溢れる青年会議所会員への成長
変化成長から築き上げる強固な組織

■ 重点事業

自発性を備え持つ青少年育成
多様性溢れるまちの魅力の創造
国際交流を通じた変化と成長
地域と共に進める広報活動
出向による個人と組織の成長

■ 主な事業

「感謝の晩餐会～ありがとう、これからも～」の例会開催
VMVセミナーの開催
異業種交流会の開催
四日市JAYCEEプログラムの開催
「拡大カマス!!～それぞれの青年会議所を考えよう!～」の例会開催
「ナカマスキになろう!!～両想いが広げる可能性～」の例会開催
JCプログラム3回の開催
「おもろいやん、青年会議所!!」の例会開催
「協働して成果を作ろう!!」の例会開催
「理念共感～持続可能な組織とは～」の例会開催
「卒業式～次代へつなげる仲間の輪～」の例会開催
青少年育成基金サルビア基金積立活動の実施
サルビア基金応援自動販売機の設置
「2つのソウゾウリョクが未来を拓く」
～子どもが主役、大人は名脇役～の例会開催
サルビア基金交付事業
「子どもの学び、なるべくいっぱい集めよう!」の例会開催
「子ども四日市in学校with JCI四日市」の例会開催
「温故知新～市民がつくる未来のまち～」の例会開催
「市民ミーティング～誇れるまちにしませんか?～」の例会開催
雨港国際青年商會とのWEB交流会議の実施
地域と共に進める広報活動の実施



■ 理事、監事、役員一覧

直前理事長	矢野 陽一
副理事長	川口 真輝
	石川 史織
	稲垣 雄介
	仲野 仁裕
専務理事	後藤 亮太
監事	大谷 健輔
	藤岡 良輔

理事	
青少年育成委員会	
委員長	大塚 徳人
副委員長	伊藤 尚貴

まちの未来創造委員会	
委員長	藤谷 竜大
副委員長	春日 孝夫

ブランディング委員会	
委員長	田中 俊太朗
副委員長	平松 大輔
	古川 泰久

未来人財育成委員会	
委員長	伊藤 祐一
副委員長	芥川 聡

事務局	
事務局長	長尾 計享
財務委員長	海老名 大樹
事務局次長	江上 富太

歴代理事長紹介 2023年度理事長(令和5年)

第69代理事長 野呂 京志

■ スローガン

持続可能な幸せをデザインしよう!



■ 主な事業

持続可能な幸せをデザインする
「時代の変化を味方に～わくわく仕事をしよう～」の例会開催
「まちの活気を取り戻そう!～ウィズコロナ時代
新たな未来への第一歩～」の例会開催
「夢を叶える子育てわくわく講座」の例会開催
「創立記念式典 ～受け継ぎ、深める強い絆～」の例会開催
「ダイバーシティ経営
～多様な価値観を知りビジネスに活かす～」の例会開催
青少年育成基金・サルビア交付事業
「わくわくティーボールチャレンジ」の例会開催
「まちの魅力はここにあり!
～まちの活気はここからだ!～」の例会開催
「情報リテラシーを学ぶ
～リーダーの情報取得について考えよう～」の例会開催
「四日市「スカイランタン®」ナイト2023」の事業開催
「卒業式～そして、新たなステージへ～」の例会開催
会員拡大活動につながる交流会の開催
理念共感セミナーの開催
四日市JAYCEEプログラムの開催

■ 理事、監事、役員一覧

顧問	矢野 陽一
直前理事長	筒井 淳士
副理事長	伊藤 尚貴
	後藤 亮太
	長尾 計享
専務理事	稲垣 雄介
監事	川口 真輝
	石川 史織
理事	
ビジネス委員会	
委員長	國安院 ゆみ
ブランディング委員会	
委員長	海老名 大樹
まちの未来創造委員会	
委員長	江上 富太
渉外委員会	
委員長	清水 一輝
青少年育成委員会	
委員長	九鬼 和太
会員交流委員会	
委員長	森山 陽介
事務局	
事務局長	刑部 聖士
財務委員長	河本 雄次

歴代理事長紹介 2024年度理事長(令和6年)

第70代理事長 石川 史織

■ スローガン

青年よ大志を抱け!!
～最高の笑顔を作り出そう～

■ 基本方針

夢や希望を描いた行動
理念を浸透させ共感を得る会員拡大
誰もが笑顔で活動できる持続可能な組織
JAYCEEとしての成長の機会
進化し続ける時代に即した広報

■ 重点事業

夢や希望を描いた未来を創造するまち創り
無限の可能性を広げる青少年の育成
四日市青年会議所の未来創造
世界に繋がる国際交流
可能性を広げ希望溢れる出向

■ 主な事業

「卒業式 ～託す想い、受け継ぐ意思～」の例会開催
「理念から広がる拡大」の例会開催
「新たな挑戦で夢の実現へ」の例会開催
異業種交流会の開催
「貴方の笑顔がみたいから」の例会開催
JCプログラムの開催
議案セミナーの開催
「まちの魅力を伝えよう!
～次世代につなぐ誇れるまち～」の例会開催
「YJCフェスティバル」の例会開催
青少年育成基金・サルビア基金交付事業「
四日市JCファミリーデイキャンプ
～人と自然と音にふれあおう～」の例会開催
「夢や希望に満ち溢れた未来の創造」の例会開催
雨港国際青年商會との往訪、来訪国際交流



■ 理事、監事、役員一覧

直前理事長	野呂 京志
副理事長	萩 広光
	藤谷 竜大
専務理事	田中 俊太郎
監事	伊藤 尚貴
	稲垣 雄介
理事	
理念共感拡大委員会	
委員長	清水 一輝
副委員長	宮田 知
	河本 雄次

地域活性委員会	
委員長	西田 真之
副委員長	仲野 仁裕
	九鬼 和大

事務局	
事務局長	蛭波 敬
財務委員長	田中 充彦
渉外委員長	高茂 亮太
事務局次長	光用 翔太郎

歴代理事長紹介 2025年度理事長(令和7年)

第71代理事長 仲野 仁裕

■ スローガン

もっと力強い四日市へ。
さあ、頑張ろうぜ!



■ 主な事業

「個」のブランディングを高め組織で行う拡大活動の実施
「～誰かではなく、全員で行う拡大活動～」の例会開催
「～あなたにしか描けない続きがある～」の例会開催
「バズれ四日市!」
#四日市の魅力を伝えたい #誇りある四日市」の例会開催
「創立70周年記念式典」の例会開催
「創立70周年記念祝賀会」の事業開催
「まちみらいフェスタ」の例会開催
青少年育成基金、サルビア基金交付事業
「まちへの愛着を!」の事業開催
「～資質と拡大の好循環 全員で考える組織の未来～」の例会開催
「四日市の魅力発見!リアルすごろくゲーム」の例会開催
「「ありがとう」を伝えたい」の例会の開催
「今、ここに在る意味 ～それでもつなぎたい想いがある～」の例会開催
会員拡大活動につながる異業種交流会の開催
JCプログラムの開催
交通安全講習の開催

■ 理事、監事、役員一覧

直前理事長	石川	史織
副理事長	田中	俊太郎
	西田	真之
	森山	陽介
	清水	一輝
専務理事	蛭波	敬
監事	野呂	京志
	後藤	亮太

理事		
ブランディング委員会		
委員長	杉谷	俊輔
副委員長	真弓	裕也

地域活性化委員会		
委員長	秦	美郷
副委員長	有川	朋邦

70周年記念委員会		
委員長	早川	諒
副委員長	高茂	亮太

渉外委員会		
委員長	伊藤	佑輔
副委員長	中野	雄介

事務局		
事務局長	伊藤	公一
財務委員長	中島	和人
事務局次長	加藤	信宏

姉妹JC 雨港國際青年商會とのあゆみ

1978年以降にほぼ毎年海外訪問を行うなど四日市青年会議所として国際交流、国際問題への取り組みを行っていました。1979年にアメリカのロングビーチ青年会議所と姉妹提携がなされましたが、距離及び時間的な問題が大きく、すこしづつ交流が少なくなっていました。

その後、アジア地域の色々な国との姉妹提携が検討されていましたが、第30代理事長の小川硬一郎先輩が偶然にも台湾の基隆JCから独立した雨港國際青年商會が日本のL O Mと姉妹締結をしたいと考えているという情報を得て、単独で訪台された際に大歓迎を受け、先方と姉妹締結にむけて動き始めました。

1984年に公式訪問団が派遣され、翌1985年に四日市青年会議所と雨港國際青年商會との姉妹締結がなされ、以降40年間私たちはともに明るい豊かな社会のために歩んできました。

1984年【四日市】姉妹締結準備

1984年【基隆】姉妹締結準備

1985年【四日市】四日市JC創立30周年の際に姉妹締結調印

1985年【基隆】姉妹締結記念式典

1986年【基隆】雨港JC創立3周年

1986年【四日市】世界会議の際に歓迎会開催

1987年【四日市】歓迎会、交流アルバム作成・贈呈

1988年【基隆】雨港JC創立3周年

1989年【基隆】交流会開催雨港JC創立5周年

1989年【四日市】大四日市まつりにて「獅子舞」を披露

1990年【四日市】四日市JC創立35周年

1990年【基隆】姉妹締結5周年

1991年【基隆】伊勢志摩観光

1991年【四日市】JC青年の船「とうかい号」基隆港の際、出迎え

1992年【四日市】4月と6月に来泗奈良研修旅行

1992年【基隆】JC青年の船「とうかい号」基隆港の際、出迎え

1993年【四日市】奈良研修旅行

1993年【基隆】JC青年の船「とうかい号」基隆港の際、出迎え

1994年【四日市】メンバー宅へホームステイ実施

1994年【基隆】翌年の創立40周年及び姉妹締結10周年の打ち合わせを実施

1995年【四日市】四日市JC創立40周年姉妹締結10周年

1995年【基隆】訪台

1996年【四日市】来泗

1996年【基隆】訪台

1997年【基隆】訪台

1997年【四日市】名古屋観光

1998年【四日市】例会に参加

1998年【基隆】雨港JC創立15周年

1999年【基隆】JC青年の船「とうかい号」基隆港の際、出迎え

2000年【基隆】姉妹締結15周年会員、家族旅行で基隆市へ

2000年【基隆】JC青年の船「とうかい号」基隆港の際、出迎え

2000年【四日市】四日市JC創立45周年

2001年【基隆】「スーパーキッズサッカー」以降SKS開催

2002年【基隆】JC青年の船「とうかい号」(四日市JC事務局主管)

基隆港の際、出迎えSKS開催

2002年【四日市】来泗

2003年【基隆】雨港JC創立20周年、



2004年【基隆】SKS開催翌年の創立50周年及び姉妹締結20周年について
打合

2004年【四日市】来泗

2005年【基隆】訪台 創立50周年及び姉妹締結20周年について打合実施

2005年【四日市】四日市JC創立50周年姉妹締結20周年

2006年【基隆】訪台

2006年【四日市】第10回キッズサッカー参加湯の山温泉観光伊勢神宮参拝

2007年【基隆】SKS開催

2007年【四日市】湯の山温泉観光名古屋観光

2008年【四日市】来泗 6月度例会参加(湯の山温泉)

2008年【基隆】雨港JC創立25周年

2009年【基隆】JC青年の船「とうかい号」基隆港の際、出迎え

2009年【四日市】来泗 湯の山温泉観光京都市観光

2010年【四日市】四日市JC創立55周年

2010年【基隆】姉妹締結25周年

2011年【基隆】訪台

2011年【四日市】来泗尾高キャンプ場

2012年【基隆】伊勢神宮観光・名古屋観光・JC青年の船出迎え

2012年【基隆】JCI世界会議参加

2013年【四日市】来泗長島観光5月度例会参加(四日市都ホテル)・奈良観光

2013年【基隆】雨港JC創立30周年

2014年【四日市】来泗長島観光名古屋観光

2014年【基隆】訪台

2015年【四日市】四日市JC創立60周年

2015年【基隆】JC青年の船「とうかい号」基隆港の際、出迎え

2015年【基隆】訪台 中正JCと雨港JCとの合同例会に参列基隆市の海岸
清掃活動

2016年【基隆】JC青年の船「とうかい号」基隆港の際、出迎え

2016年【基隆】JCI ASPAC高雄大会

2016年【基隆】訪台 基隆市の海岸清掃活動

2016年【四日市】来泗 四日市市内清掃長島観光

2017年【基隆】訪台 雨港賀詞交歓會

2017年【基隆】訪台 基隆市の海岸清掃活動

2017年【四日市】来泗 四日市環境未来館見学湯の山観光

2018年【基隆】JC青年の船「とうかい号」基隆港の際、出迎え

2018年【基隆】訪台雨港JC創立35周年

2018年【四日市】来泗吉崎海岸清掃大阪観光

2019年【基隆】JC青年の船「とうかい号」基隆港の際、出迎え

2019年【基隆】訪台基隆市の海岸清掃活動九份観光

2019年【四日市】来泗災害ボランティア水沢見学

2020年【W E B】国際交流会議四日市JC創立65周年 姉妹締結35周年

2021年【W E B】4LOM国際交流会議

2022年【W E B】国際ソロリティ交換会議

2023年【基隆】雨港國際商會40周年記念式典

2024年【基隆】台北大学にて国際交流会議、台北観光

2024年【四日市】日永うちわ作成、海岸清掃ボランティア

2025年【四日市】国際交流会議四日市JC創立70周年 姉妹締結40周年調印式

2025年【基隆】訪台 中元祭パレードに参加



70周年記念式典 祝賀会



仲野理事長による力強い挨拶



太鼓チーム生演奏



JC関係者で「明日のために」合唱

2025年5月15日に創立70周年記念式典及び祝賀会を開催させていただきました。

本誌をご覧の皆様におかれましては、平素より多岐にわたるご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

皆様のお力添えもございまして、当日は盛大に開催をすることができました。

一般社団法人四日市青年会議所は、創立から70年間、諸先輩方をはじめとする多くの方々と共に明るい豊かな社会の実現に向けて運動を展開してきました。

この数年間は混迷する世界情勢の中で未来をイメージしながら運動を展開していくには厳しい状況でございます。

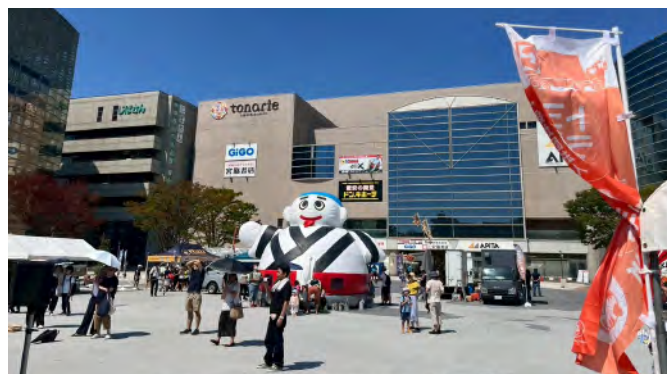
しかし、どのような苦境であっても、時代の変化に挑み、「何ができるのか」「何をすべきなのか」青年会議所の存在意義に照らし模索することこそ我々の使命であります。これからも歴年の積み重ねを忘れることなく、全てのご縁に感謝をし、四日市青年会議所会員一丸となり、もっと力強い四日市を創り上げることに取り組んでまいります。

70周年を迎えるにあたり、ご尽力、ご協力くださった皆様に改めて感謝を申し上げますとともに、今後より一層のご厚情を賜りますことを心よりお願い申し上げます。

70周年記念例会 事業



太鼓チームと共に太鼓の演奏体験



四日市市民公園での開催の様子

一般社団法人四日市青年会議所 2025-2029 中長期ビジョン

私たちが住まう三泗地区 東海道四日市宿を有し その歴史と成り立ちは古く 1300 年ほど前にまでさかのぼります
その歴史は単純なものではなく 安政の大地震による港の壊滅 第二次世界大戦下の四日市空襲 高度経済成長期の大気汚染
現在にいたるまで様々な危機的状況がありました そのたびに地域に住まう先人たちが手を取り 一丸となって様々な困難を乗り越えてきました
四日市青年会議所も例外ではなく 1955 年の創立以来 様々な社会課題に取り組み 現在まで続く未来を作ってきました
2025 年 四日市青年会議所は 70 周年を迎えます 情報化が進み 発足当時とは環境も変わってきました
だからこそ 今一度青年会議所の原点に戻り これからの 5 年間を見据えた運動指針をここに策定し
まちのために 私たちにしかできない運動を展開してまいります

■ 地域

【地域の脅威】

三泗地区は人口減少と少子高齢化が進行しており、これに伴う社会的影響が顕在化しています。平成 20 年以降、人口は減少傾向にあり、合計特殊出生率が三重県平均を下回っている地域もある状況です。また、国道を始め慢性的渋滞が多く、北勢バイパス、四日市港臨港道路(霞 4 号線)、四日市鈴鹿環状線の早期開通・延伸や公共交通推進が求められます。地震や津波、台風といった自然災害への備えとして、防災・減災対策の強化も地域社会にとって重要な課題です。さらには、空き家問題も深刻化しており、管理不全の空き家が増えると倒壊や火災発生、景観を損なうなど様々なリスクがあります。

【地域の機会】

三泗地区には多文化共生が推進されている地域があります。そのため外国人定住のためのノウハウが蓄積されており、雇用などにより働き世代の転入も多いことから、域外からの人口流入を促進する基盤があります。また、交通の要所としての価値が今後さらに重要となる中で、防災・減災に配慮した新たなまちづくりの機会が生まれています。

【地域の四日市青年会議所に求められる行動】

地域の団体を結びつけて人口増加に向けた事業を行い、人口流出に歯止めをかけ、人口流入を促進することが期待されています。

具体的には・・・

- ・人口流出を防ぐため、地域で行われている祭りの活性化に寄与します
- ・地域での快適な生活に寄与するため、インフラ整備・公共交通の推進を行います
- ・地域での安心な生活に寄与するため、防災・減災対策を実施します
- ・域外からの人口流入を促進するため、空き家の活用に取り組みます
- ・地域での活動に対する効果をさらに高めるため、行政との連携を強化します

■ 経済

【経済の脅威】

また、後継者不足による黒字廃業という問題もあり、第三者への事業引継ぎや事業承継税制の活用などが急務になっています。さらに、三泗地区は観光資源も有していますが、観光業はパンデミックや自然災害、経済不況の影響を受けやすい状況にあります。

【経済の機会】

中央通り再開発事業や JR 四日市駅前への大学設置、みなとまちづくりプランなど、中心市街地が今後さらに発展する機会があります。また、地域資源としての豊かな自然、伝統工芸品、農産物を活用することで、地元経済の振興を目指すことができます。

【経済の四日市青年会議所に求められる行動】

中小企業への適切な支援を行い、地域資源をブランド化して付加価値を高めることで、地域経済の活性化に貢献する役割が求められています。

具体的には・・・

- ・地域で多様な産業を育成するため、事業承継や起業支援に関する特区を検討します
- ・中心市街地の発展をさらに推進させるため、周辺企業の関わり方を検討します
- ・新しい地域の魅力を創出するため、駅周辺の町おこし事業を実施します
- ・地域資源をさらに活用するため、地産地消を推進します
- ・地域経済をさらに発展させるため、三泗地区の魅力を国内外に発信します

■ 人材

【人材の脅威】

地域の将来を担う青少年の育成において、友人・教職員との関係や困窮などにより学校に通えない子どもたちが増加しており、学校教育だけでは対応しきれない状況が生まれています。

さらに、都市部への若者の流出が続く中で、女性や国内外からの移住者など、多様な人材が活躍できる教育システムの構築が求められています。

【人材の機会】

三四地区でも技術革新が急速に進んでおり、超スマート社会（Society5.0）を迎える中で、若者や女性、移住者などの個性を活かした人材育成の在り方を考える機会があります。

【人材の四日市青年会議所に求められる行動】

地元の教育機関などと連携し、スキルアップの機会を増やして地元であるかどうかに関わらず地域愛を持って活躍する。リーダーを育成することが期待されています。

具体的には・・・

- ・若者を支援するため、様々な状況に置かれた青少年の育成事業を実施します
- ・多様な人材を活躍させるため、女性や外国人の就労環境整備および起業支援を実施します
- ・多様な人材の個性を活かすため、LGBT 研修を実施します
- ・技術革新に対応していくため、最新技術に関する勉強会を実施します
- ・地域愛を持ったリーダーを育成するため、研修事業を実施します

■ 組織

【組織の脅威】

会員数の減少や会員期間の短縮が課題となっています。これにより、活動や運営に必要な資金の不足、外部との連携不足、執行部のなり手不足が生じています。また、理事職へのマイナスイメージを持つ方へのアプローチも重要な課題です。

【組織の機会】

若い世代も少しずつ増えているので、そのようなメンバーと協力して組織運営や事業の在り方を見直す機会となっています。また新型コロナウイルスによるパンデミックも落ち着き、会員のための研修プログラムを実施、または更新しやすい状況にあります。

【組織の四日市青年会議所に求められる行動】

地域のあらゆるパートナーと協働し、若者に適した事業を実施して定期的に若者と交流する仕組みを構築することが求められています。また研修プログラムや広報活動を強化して、四日市青年会議所の組織としての成長を目指す必要があります。

具体的には・・・

- ・会員拡大について若い世代にアプローチするため、年代別の交流事業を実施します
- ・執行部のなり手不足を解消するため、オリエンテーションを強化します
- ・地域から求められる団体となるため、広報活動の見直しと強化を行います
- ・他団体との相乗効果を生むため、連携強化および合同事業を実施します
- ・理事職へのマイナスイメージを払拭するため、時代に合わせて組織運営を見直します

この中長期ビジョンに基づき、私たちは地域の課題に取り組みながら経済の活性化や人材育成、組織の強化を図り、持続可能で魅力ある地域社会の実現を目指します。

地域住民、企業、行政、そして四日市青年会議所が協力し合うことで、次の世代に引き継ぐことができる誇り高い地域を創り上げていきます。

新型コロナウイルスによるパンデミックが落ち着いてもその後物価高騰や自然災害など新しい脅威が生まれています。その一方で多彩なイベントの再開新しい生活様式による働き方改革など新しい機会も増えています。

この中長期ビジョンには現在の脅威や機会の内容を鑑みて、これからの5年間で解決していきたい社会課題が記されています。

一般社団法人四日市青年会議所

第70代理事長 石川 史織

未来創造特別会議 議長 野呂 京志

メンバー 稲垣 雄介 加藤 信宏 後藤 亮太 杉谷 俊輔 仲野 仁裕 秦 美郷

四日市JC シニアクラブ会員名簿

大正 14年	岡田 卓也
昭和 4年	水谷 春三
5年	豊田 良郎
7年	松嶋 英男
8年	服部 幸男
11年	山路 恭三
	石津 英尚
12年	糸内 蕃
	佐治 英三
	和田山恵三
	内田 優
15年	月野 光政
	大久保尚一
	山手 幹郎
	堀木 紀徳
	永田 正巳
16年	伊藤 洋和
	渡辺 久和
	田中 公一
18年	北岡 泰爾
	中村 公一
	伊藤 昌生
	伊藤 勘作
	小林 宏祐
	村川賢一郎
19年	今村 良隆
	石井 文彦
	熊野 孝幸
	生川 鐵雄
	豊田 衛
	萩野 賢司
	東川 強
	千賀 範昭
	安藤 信行
	青山 學
20年	米山 茂
	竹内 裕
	小川硬一郎
	栗原 正明
	篠宮 義和
21年	生川 平藏
	山下久三造
	中島 和弘
	仲野 弥和
	三輪 和豊
22年	早川 廣
	加藤 幾恒
	阿竹 一之
	竹内 稔
	小林 一成

昭和 22年	田村 博志
	宮崎 由至
	木下 弘
	鈴木 康之
	三平 一良
	塚松 博文
	長谷川芳之
23年	清水常雄
	伊藤 隆
	伊藤 一美
	木村 哲美
	古市 利光
	森川 道博
	清水 良
	光用 敬一
	平田 耕一
	大山 吉久
	大橋 正行
24年	牧野 一己
	伊藤 道郎
	前嶋 裕三
	服部 富男
	野呂 知生
	渡辺 八尋
	矢野 正剛
	関 恒美
	伊藤 正衛
25年	前川 克典
	田中 眞禅
	杉本 雅俊
	山路 和良
	宇野 誠
	森崎 誠二
	川村 武
	鈴木 順一
	西 正敏
	澤田 秀次
26年	斎木 俊洋
	堀木 俊男
	井手 広行
	田中 克宜
	渡部 俊郎
	浅野 年嗣
	小林 泰子
	真田 文雄
	中林 史雄
	吉田 泰宣
	田中 行
	市川 典彦
27年	神田 博

昭和 27年	飯嶋 清和
	山本 行恭
	谷口 龍次
	浅井 清司
	内田 嘉衛
	杉野 克幸
	鈴木幸志郎
28年	渡邊 正夫
	森本 恵幸
	鈴木 勝士
	高尾 明宏
	大矢知直登
	岡田 克也
	山本 歩
	小林 正克
	三谷 新市
29年	森本 晋司
	浅岡 史郎
	小川 庄治
	矢野 正則
	塩川 彰彦
	宮田 佳典
	古川 典明
	中澤 明彦
	藤岡 傳
30年	長谷川 孝
	伊木 栄次
	細野 和美
	中川 直之
	鈴木 茂仁
	市川 勝示
	大谷 浩信
	長谷川裕之
31年	山田 幸
	後藤伸一郎
	中村 良人
	渡辺 順吉
	平松 俊範
	山路 熟
	梅田 次男
	伊藤 幸昌
	廣田 隆俊
	廣瀬 良平
32年	中澤 秀之
	山下 邦男
	小川 真也
	青山 弘忠
	稲垣 嘉英
	森 弘尚
	伊藤 文夫

昭和 32年	松山 樹雄
	関井 恵秋
	寺本 豊
	北川 隆宏
	村田 嘉宏
	渡辺 義之
	矢田 正喜
33年	石田 稔
	清水 研志
	今村 佳央
	鈴木 嘉美
	佐藤 寿洋
	伊藤 康彦
	森 公平
	三宅康夫
	小林 敏孝
	久志本 稔
	五味 昌純
	西岡 仁
34年	和田山久司
	伊藤 正俊
	石垣 宏
	藤谷 俊文
	堀江 勝也
	赤塚 永二
	黒田 和弘
	森下 育
	門井 恵介
	生川 正洋
	伊藤 正章
	小林 正直
35年	田中 俊徳
	藤牧 正浩
	豊田 晃
	木下 卓也
	杉本 隆繁
	阪倉 光弘
	奥山 真弘
	萩 文三男
	山本 利光
	伊藤 旬
	山川 成喜
	中野 勝方
36年	服部 浩明
	佐藤 勝教
	大森 和義
	服部 幸毅
	高橋 正浩
	岩崎 哲治
	伊藤 弘明

四日市JC シニアクラブ会員名簿

昭和 36年	杉本 暢克
	樋口 博也
	坂口 誠
	水谷 慎志
	新内 成彦
	前川 恭範
37年	長谷川雅人
	増田 潤治
	渡辺 誠人
	山路 政毅
	藤原 和彦
	鈴木 靖治
	木村 高敏
	難波 修二
	矢野 晶久
	松谷 久彌
	林 典弘
	水谷 保雅
	萩野 昌毅
	竹中 幸一
	柳川 信裕
	豊田 政典
38年	早川 昌彦
	伊藤 靖則
	清水 学
	萩原 正彦
39年	堀内 孝二
	堤 淑明
	馬瀬 勝也
	矢野 克尚
	加藤 万明
	寺本 匡宏
	柳川 貴子
	杉本 雅照
	山崎 博
40年	松岡 伸年
	倉田 貴生
	服部 好美
	波田 武樹
	野村 幸廣
	堀木 直弘
	高野 泰宏
	今井 利昌
	萩原 宏林
	須崎 隆
	伊藤 裕司
41年	水野 三弥
	伊藤 省吾
	岡本 浩延
	小林 正幸

昭和 41年	阪元 圭介
	佐野 貴信
	水野 昌和
42年	伊藤 洋介
	西瀧 光夫
	山路 恭司
	若林 弘樹
	高森 裕式
	岡田 良太
	富山 昌人
	西原 朋宏
	菊池 雄一
	奥野 真一
43年	古賀 靖
	中川 康洋
	宇佐美義久
	上岡 治生
	萩 智洋
	西岡 朋晃
	嶋田 吉秀
	片岡 宏朗
44年	児玉 光輝
	水谷 克之
	田邊 裕也
	松岡 弘高
	伊東 学
	北岡 太輔
	西村 陽一
	前納 光一
	久留美輝晃
	仲井 誠民
	山本 伊仁
45年	説田 有恒
	佐藤 秀樹
	吉富 直也
	小林 千秋
	益川 篤夫
	西林 直治
46年	中村 隆宏
	伊藤 勝美
	大久保誠人
	長谷川恭裕
	伊藤 正人
	小川 一隆
	山田 悟
	森 由起子
	服部 晃典
	松浦 祐子
47年	伊藤 浩実
	伊藤 吉弘

	吉原 和志
	樋口 裕貴
	南部 義幸
	谷垣 和輝
	石井 智光
	伊藤 章史
	土田 繁
	稲垣 昭義
	勝川 卓也
	竹内 理
	松田 洋人
	村木 雄哉
	平田 敦久
昭和 48年	江間 寿
	矢田 勝敬
	伊藤 達也
	小林 徹也
	中林 朋久
	大西 浩次
	市川 裕隆
	保位 真吾
	山下 五大
49年	橋本 将臣
	服部 勇史
	伊藤 克弥
	西口 知克
	小松 哲也
	岡本 淳
	舟山 義則
	向井 久夫
	佐藤 寿哉
	藤村 貴
	近藤 雅幸
	山口 修
	渡邊 将充
	芳野 正英
	中川 順二
	佐藤 賢一
	服部 聡
	石脇 大輔
	萩野 健愛
	塚松 大輔
	西原 貴子
	佐野 智成
	樋尾 重樹
	佐々木 薫
50年	森 尚昭
	大住 顕成
	岩井 隆幸
	田中 慎也

昭和 50年	脇田 泰明
	山田菜々子
	北岡 賢
	福村 康仁
	安藤 貴也
	熊野 光洋
	中村 吉均
	津田 正雄
51年	木村 輝秀
	宮崎 由太
	小川 晃範
	田中 秀隆
	若林 辰也
	堀木 博貴
	水谷 周司
	大久保 直
	樋口 龍馬
	金 龍植
	伊藤 彰
	石岡 裕
	深水 陽介
52年	川北 篤
	森寺 奉仁
	伊藤 元英
	大西 岳夫
	矢田 武賜
	川崎 嘉大
	渡辺 大雄
	中澤 義一
	見取 貴臣
	笠原 幸枝
	内山 武
	阿竹 一仁
	加納 大輔
	多田 隼人
53年	岡村 善将
	竹内 俊介
	有吉 寿徳
	石橋 朋和
	森 智広
	光本 尚貴
	坂 大輔
	橋本 和幸
	松本 康成
	橋本 真宏
	江川 稔規
54年	前田 大輔
	柳川曜一郎
	里中 祐介
	大佛 康二

四日市JC シニアクラブ会員名簿

昭和 54年	萩村 健
	平田富太郎
	森谷 貢
	岡田 圭司
	江間 卓也
	丹羽 昌邦
	西川 友絵
	赤塚 新
	佐野 貴代
55年	清水 良保
	式井 一博
	橋本 剛
	生川 雄規
	西田 太郎

昭和 55年	鈴木 浩介
	山中 明善
	伊藤 恵
	大谷 常雄
	山路 幸輝
	西川 晴義
	藤原雄太郎
	田村 尚也
	喜納 理豪
56年	福村 和樹
	山路雄一郎
	伊藤 将士
	徐 正和
	平野 貴之

昭和 56年	西尾信太郎
	伊藤 勝利
	泉 晃多
57年	古川 泰久
	太田 匡彦
	春日 孝夫
	平松 大輔
	大谷 健輔
	辻中 秀明
	伊藤 祐一
58年	川口 真輝
	國安院ゆみ
	矢野 陽一
	後藤 純子

昭和 58年	刑部 聖士
	芥川 聡
	中山 淳二
	藤岡 良輔
	筒井 淳士
	平井 敦
59年	樋口 裕起
	宮田 知
	光用翔太郎
	河本 雄次
	石川 史織
	伊藤 尚貴
	田中 充彦
	今井 香里

物故会員紹介

昭和 53年	宮本 隆司
62年	後藤藤太郎
	久村 輝夫
63年	山下 純二
	熊本 哲三
平成 2年	川村 潔
3年	片岡 保輔
5年	門脇 一民
8年	日紫喜松次郎
9年	山田 幸男
10年	前田 一長
	光本 重夫
11年	霜 幸男
	五味 明
	稲垣 繁
12年	伊藤 保
	太田 清嗣
	齋木 節三
	川畑 清
	山田 行雄
	山下 雅司
13年	伊藤 泰昌
	和田 吉弘
14年	前田 勝
15年	伊藤 満
	宮崎 浩
	川邊 益宏
	平山 浩

平成 15年	西田 宏
16年	山路 幹雄
17年	小林 直樹
	山田喜久司
	清水 勝也
	廣田 昌作
18年	新谷 昭憲
	宇野 隆章
	濱田 一郎
	水谷 謙司
19年	稲垣 芳夫
20年	堀田 時良
	九鬼 紋七
21年	古市誠之助
22年	門脇 俊太
	山本 勝男
	伊藤 立教
	樋口 裕高
23年	久保村秀高
	吉川 八郎
	水谷 拓哉
24年	佐藤 康一
	矢野 耕一
	吉田 紘臣
	坂倉 吉紀
25年	葛谷 一郎
26年	笹野 晃史
	中川 宏

平成 26年	梅沢 悟
	後藤 孝三
27年	鈴木 邦彦
	清水 政郎
	岩間 哲郎
28年	伊藤 和門
	中嶋十二郎
	林 悦男
	樋尾 晶三
	村山 篤
	島田 豊
29年	佐藤 武
	石井 惣司
	高松 達之
	藤原 和夫
	奥村 金一
	矢野 裕之
	蟹江 哲博
	竹腰 充利
	服部 鎮夫
30年	松井 昌平
	堀木 晃一
	中川 明
	林 茂雄
31年	今井 暹
	山城 民雄
令和 元年	片山 茂則
2年	小倉 悟

令和 2年	矢田 見幸
3年	鈴木 幹雄
	水原 政充
4年	堀木 義男
	久納 一夫
	堀木 源衛
5年	和田 秦親
	石塚 直樹
	服部 幸男
6年	西野 光之
	村木 敏夫
	伊藤 武夫
	水谷 勝也
	加藤 隆俊
7年	太田 恒久
	伊藤 輝文
	坂 照明
	森 勝幸

2025 年度会員紹介

■ 執行部



理事長	仲野仁裕	仲野整體整骨本院
直前理事長	石川史織	(株)ITSUKI FACTORY
副理事長	田中俊太郎	(株)タナカ
副理事長	西田真之	ハート保険
副理事長	森山陽介	(有)森山建設
副理事長	清水一輝	(有)清水空調
専務理事	蛭波敬	行政書士法人OULAP
監事	野呂京志	東海地所(株)
監事	後藤亮太	(株)LIFFF

2025年度、四日市青年会議所は創立70周年という節目の年を迎え、「もっと力強い四日市へ。さあ、頑張ろうぜ!」のスローガンのもと、未来を切り拓く覚悟を胸に活動を展開しています。

執行部は、「中今」の精神を体現し、過去の歩みに感謝を捧げながら、次代に繋がる運動を創出してまいります。

まちの課題を自らのこととして捉え、家族・企業・地域が連携する未来を描きます。

40歳までの限られた時間の中で、自己成長・まちづくり・国際・ビジネスの4つの機会を最大限活かし、メンバーの可能性を開花させるリーダーシップの育成にも邁進します。

「我々青年こそが地域の未来を変える存在である」

その確信を持ち、より良い四日市の実現に全力で挑んでまいります。

■ ブランディング委員会



委員長	杉谷俊輔	大和ハウスリフォーム(株)
副委員長	真弓裕也	(株)令和建材
委員	杉本崇	杉栄開発(株)
委員	森友樹	(株)Y.T.S
委員	石井貴久	東電運輸(株)
委員	重田真菜	(株)ミラコロ
委員	樋口佑菜	HILLS本店
委員	若林正幸	社会保険労務士法人 若林労務経営事務所
委員	戸板駿介	セブンイレブン四日市曙店
委員	堀木亮汰	(株)ティーケーシー
委員	伊藤将希	(株)イトジュ
委員	矢野貴大	(株)朝日歯車製作所

私たち、ブランディング委員会は会員拡大と会員の資質向上について取り組んでおります。

2025年度は拡大と資質向上が生み出す好循環をモットーに活動してまいりました。

会員拡大活動で新たな同志を募ることによって多くの価値観や知恵を会にもたらすことができ、新たな刺激が生まれ会員同士の向上心が育まれました。

委員メンバーのほとんどが新入会員で構成されることがブランディング委員会ならではの仕組みであり、多くの気づきや学びも受けられます。

本年度は「全員で行う会員拡大活動」を掲げ、他委員会へのタイアップに注力してまいりました。

その結果、会員の活動に対する積極性がまし、会全体の士気が上がることができました。。

そして、若年層の会員を中心に自己成長に関して切磋琢磨する姿も多くみられ、主体性をもった会員を増やすことができました。

これからも会員拡大と資質向上の好循環は後世に引き継ぎ、会の発展、ひいてはまちの発展に寄与していきます。

2025 年度会員紹介

■ 地域活性化委員会



委員長	秦美郷	花屋のMiri
副委員長	有川朋邦	伊藤板金工業(株)
委員	藤井浩太	(有)渡義工業
委員	チャン ティエン ミン ファイ	(株) V J B
委員	萩野一真	萩野メタルワークス(株)
委員	堀井真広	(有)米津西部

創立70周年を迎える本年度、地域活性化委員会は「もっと力強い四日市へ」を胸に活動します。
人口減少や高齢化という課題を自分ごとと捉え、市民や企業、行政と連携し、にぎわいと誇りあるまちを創ります。
具体的には、地域資源を活かした新しいイベントや交流の場を生み出し、若者が挑戦できる機会を増やすことで地域全体の力を引き出します。
また、未来を担う子どもたちの成長を支援するため、サルビア基金交付事業を通じて教育プログラムやスポーツ、文化活動を応援し、青少年が夢や目標を持てる環境を整えます。
こうした運動は、四日市の魅力を次世代へとつなぐとともに、理事長所信に掲げる「家族、会社、地域を良くする」にもつながります。
委員会メンバー自身も活動を通じて地域とのつながりを感じながら成長し、「四日市は変わったのではなく、私たちが四日市を変えた」と誇れる未来を築きます。

■ 70周年記念委員会



委員長	早川諒	早川産業(有)
副委員長	高茂亮太	(株) プランス
委員	稲垣雄介	(株) 稲藤
委員	九鬼和大	九鬼資材(株)
委員	辻裕登	四日市市議会議員
委員	木田智晴	(株) 四日市モーターズ商会

本年、四日市青年会議所は70周年を迎えることができました。
これは、地域の発展を願う多くの仲間が団結し、社会課題に挑み続けてきた証であり、諸先輩方の不断のご尽力と地域の皆様の温かいご支援の賜物であります。
私たち70周年記念委員会は、「中今」を生きる者として、紡がれてきた想いと歩み続けてきた歴史を紐解き、これからのまちの新たな可能性を描くための運動を展開してまいりました。
諸先輩方との交流を通じて青年会議所運動の本質に触れ、地域に貢献する使命を改めて胸に刻むことができました。
また、70周年記念式典、祝賀会には大変多くの方々にご臨席賜り、地域、青年会議所の仲間、諸先輩方、そして国際的な友情の絆を強く感じることができました。
人とひとのつながりこそ未来を切り拓く原動力であり、我々はこれからも一人ひとりが成長し、地域と共に歩み続けることで、明るく豊かな社会の実現に寄与してまいります。

2025 年度会員紹介

■ 渉外委員会



委員長	伊藤佑輔	(株)柳屋総本店
副委員長	中野雄介	(株)中野木工所
委員	長尾計享	(株)ラシックデザイン
委員	萩広光	富士交通(株)
委員	橋本友彦	からだケアRおおぞら整骨院

本年度、渉外委員会は「かつていい四日市青年会議所」を対外へ力強く発信し、対内においては公式事業や国際交流への積極的な参加促進と、得た学びを共有し、会員全員の成長の最大化を図ってまいりました。70周年という節目において迎えた雨港国際青年商會との姉妹締結40周年調印式は、その象徴ともいえる大きな成果であり、四日市青年会議所の存在感を国内外に示す機会となりました。私たち渉外委員会は、外に出た際に「四日市青年会議所はかつていい」と記憶されるような活動を誇りにし、その経験をLOMに還元することでさらなる発展につなげています。会員が積極的に外に飛び出し、多くの学びを得られるように環境を整え、参加の意欲を高めることが私たちの使命です。そして今、四日市JCのメンバーは自然と「かつていい四日市」を体現し行動しています。この精神は歴代の渉外委員会から受け継がれてきたものであり、未来の仲間へと繋げるべき私たちの誇りです。

■ 事務局



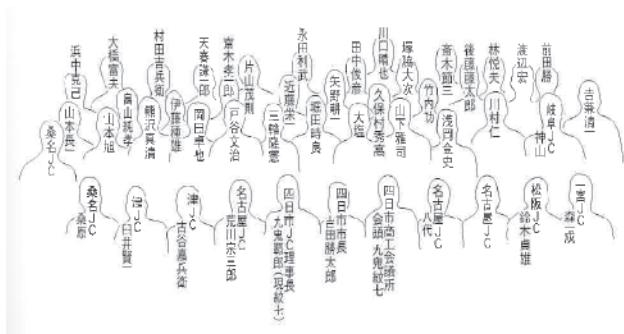
事務局長	伊藤公一	(株)暁興産
財務委員長	中島和人	(有)博本組
事務局次長	加藤信宏	ONE GOOD/いざっくのぶりん
委員	藤谷竜大	社会福祉法人フジ福祉会
		幼保連携型認定こども園フジ保育園
委員	海老名大樹	ジオテック(株)

急速に進化するデジタル技術は格差を生みやすい現実があり、社会全体での対応が求められています。事務局は、青年会議所の運営を支える立場として、会員が安心して参加できる環境を整え、学びや挑戦が広がるよう努めています。会議や資料の管理は確実に行い、通常総会や臨時総会では多様な意見を集めながら方向性を共有し、卒業式では積み重ねた経験と誇りを次世代へと受け渡しています。創立70周年を迎える本年は、これまでの歩みを記念誌にまとめ、信頼と実績を未来につなげる契機としています。広報や研修の在り方は現場の声を踏まえて見直し、負担の偏りを防ぐ体制を意識しながら進めています。資料は分かりやすく整理し、議論の場は安心して意見を交わせる雰囲気大切にしています。単年度の成果を次へ手渡す視点を忘れず、一つひとつの改善を重ねることで、仲間の挑戦が確かな成果へ結びつく運営を実現しています。

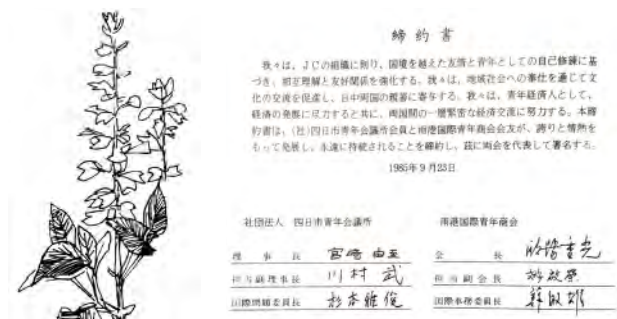
一般社団法人四日市青年会議所
創立70周年記念誌 2025年11月発行
発行：一般社団法人四日市青年会議所
発行責任者：第71代理事長 仲野 仁裕
編集：一般社団法人四日市青年会議所 2025年度事務局



1955年創立時 チャーターメンバー集合写真



1955年創立時 集合写真撮影時氏名一覧



1981年設立当初
サルビア基金シンボルマーク
「サルビアの花」

1985年 雨港国際青年商會との
姉妹JC締約書



1988年 中国へ向かう「よっかいち号」の出発見送り



1997年 スーパーキッズサッカー



2019年 四日市シティロードレース大会



2025年 雨港国際青年商會
姉妹締結40周年調印式



2025年 青年会議所と共に育ち
60周年を向かえた青年会議所太鼓チーム